

平安京と新しい仏教

1 / 1

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

平安時代の初め、朝廷はどのように政治を立て直し、唐とどう関わったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 桓武天皇と平安京

政治の立て直し

桓武天皇

794年に都を平安京に移し、律令にもとづく政治の立て直しを進めた。

平安京

794年に京都につくられた都。

坂上田村麻呂

797年に征夷大將軍となり、東北地方の蝦夷を降伏させた。

アテルイ

東北地方の蝦夷を率いて朝廷の軍と戦った指導者。802年に降伏した。

794年、桓武天皇は、奈良の大きな寺院の勢力から離れて律令にもとづく政治を立て直すため、都を京都の平安京に移した。平安京は唐の都・長安にならってつくられ、1000年以上も都であり続けた。平安京に都が置かれてから約400年間は平安時代という。

東北地方では、朝廷に従わない蝦夷の人々が抵抗を続けていた。桓武天皇は797年、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じて送り、802年に蝦夷の指導者アテルイらを降伏させた。しかし、都づくりと東北での戦いは人々の大きな負担となり、桓武天皇は晩年にこの二つを取りやめた。

2 新しい仏教と遣唐使の停止

仏教と唐

最澄

比叡山に延暦寺を建て、天台宗を開いた僧。

空海

高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を開いた僧。

菅原道真

894年に、遣唐使の派遣をやめるよう提案した人物。

遣唐使

唐の制度や文化を学ぶために朝廷が送った使い。894年に停止。

9世紀の初め、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学んだ最澄と空海が、新しい仏教を伝えた。最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開いた。山奥の寺できびしい修行を積むこの仏教は、天皇や貴族に重んじられた。

その後も朝廷は遣唐使を送ったが、9世紀の後半には唐の国内が乱れ、海を渡る危険も大きかった。そこで894年、菅原道真の提案によって、遣唐使の派遣が停止された。その唐も、907年にほろびた。

宗派	開いた僧	寺
天台宗	最澄	比叡山の延暦寺
真言宗	空海	高野山の金剛峯寺

問いへの答え

桓武天皇は、奈良の大寺院の勢力から離れて律令の政治を立て直すため、794年に都を平安京に移し、坂上田村麻呂を征夷大將軍として東北へ送って朝廷の支配を広げた。唐からは最澄と空海が新しい仏教を伝えたが、唐の国内が乱れると、894年に菅原道真の提案で遣唐使の派遣が停止された。

次はノートで、下線に語句を書きながら確かめよう →

